

2018年3月期 決算説明会



UX200
(ジュネーブモーターショー出展車両)

トヨタ自動車株式会社
2018年5月9日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- ◆ 為替相場の変動(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、ロシア・ルーブル、加ドルおよび英国ポンドの相場変動)および金利変動
- ◆ 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆ 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ◆ ブランド・イメージの毀損
- ◆ 仕入先への部品供給の依存
- ◆ 原材料価格の上昇
- ◆ デジタル情報技術への依存
- ◆ 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- ◆ 生産および販売面への影響を含む、自然災害による様々な影響

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

インサイダー取引に関するご注意:

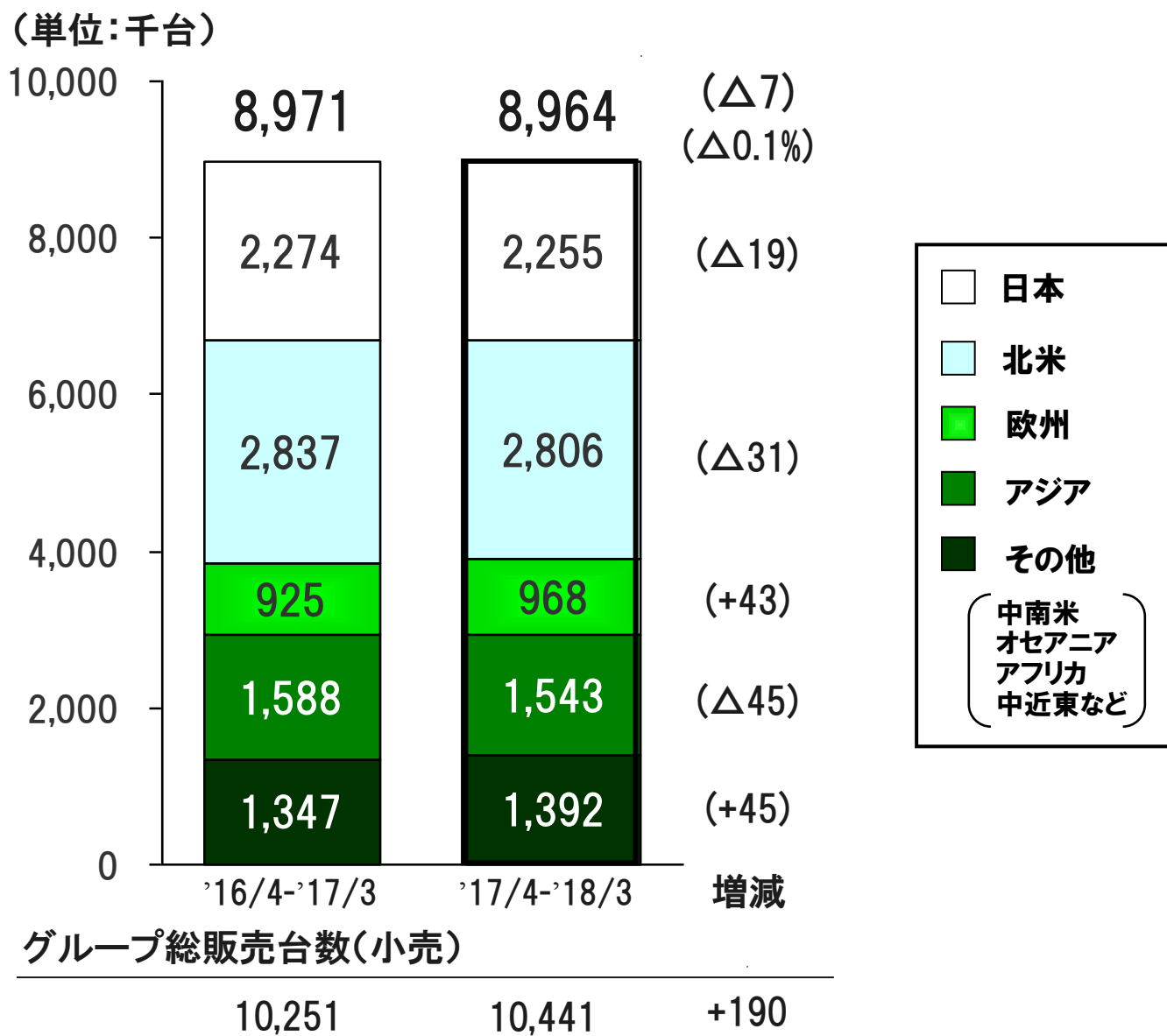
企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

2018年3月期 決算説明会

2018年3月期 実績

2019年3月期 見通し

連結販売台数



連結決算要約

<為替レート>	当期	前期
ドル : 3円円安	111円 ←	108円
ユーロ : 11円円安	130円 ←	119円

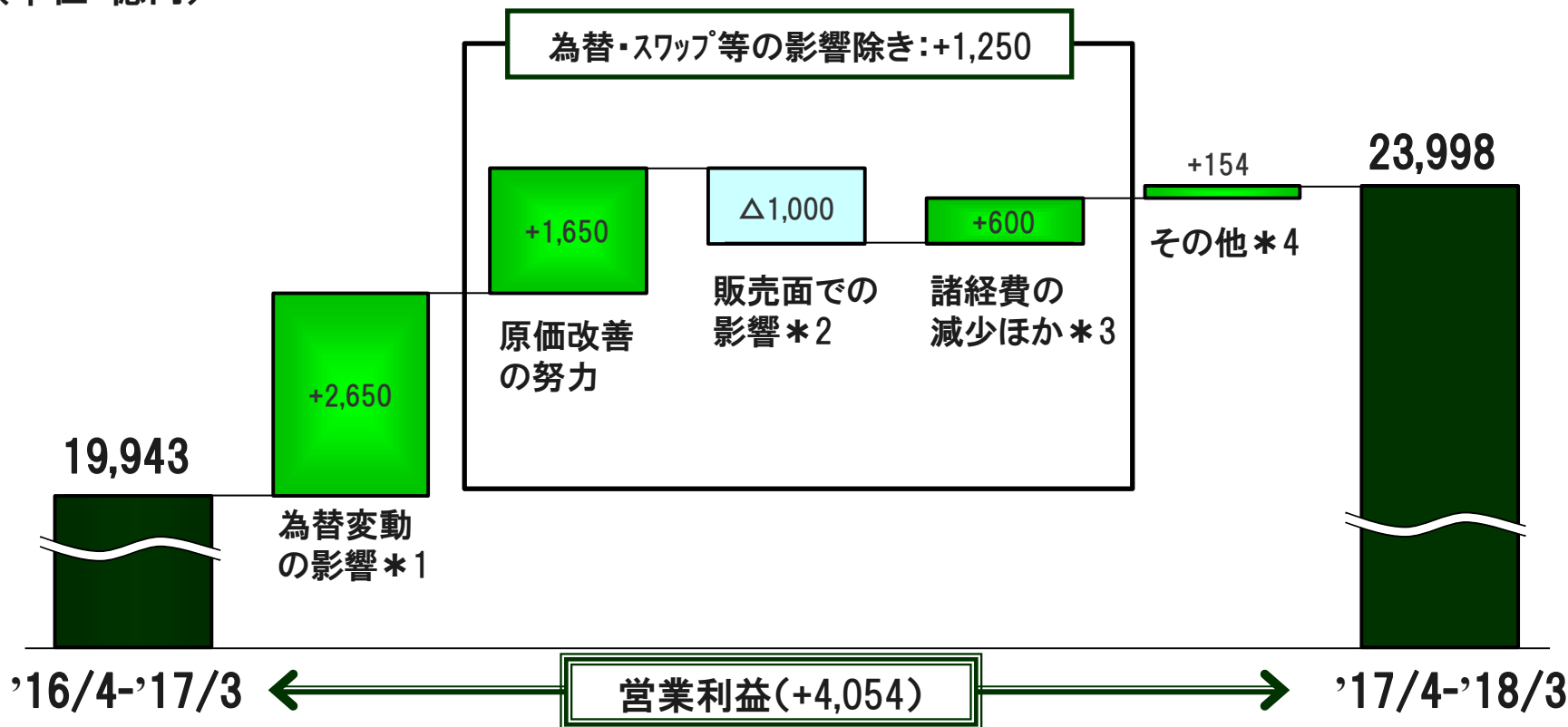
TOYOTA

(単位:億円)	当期 ('17/4 ~ '18/3)	前期 ('16/4 ~ '17/3)	増減
販売台数 (千台)	8,964	8,971	△ 7
売上高	293,795	275,971	+ 17,823
営業利益 (営業利益率)	23,998 (8.2%)	19,943 (7.2%)	+ 4,054
営業外損益	2,205	1,994	+ 211
税引前利益	26,204	21,938	+ 4,266
法人税等	5,044	6,289	△ 1,244
持分法投資損益 *1	4,700	3,620	+ 1,080
うち 中国 *1	889	851	+ 37
当期純利益 *2 (当期純利益率)	24,939 (8.5%)	18,311 (6.6%)	+ 6,628

- *1 うち、日本3,424 (+1,006)、その他387 (+35)
中国小売販売実績 (' 17/1-12) は1290千台 (前年比+76千台)
- *2 当社株主に帰属する当期純利益

連結営業利益増減要因

(単位:億円)

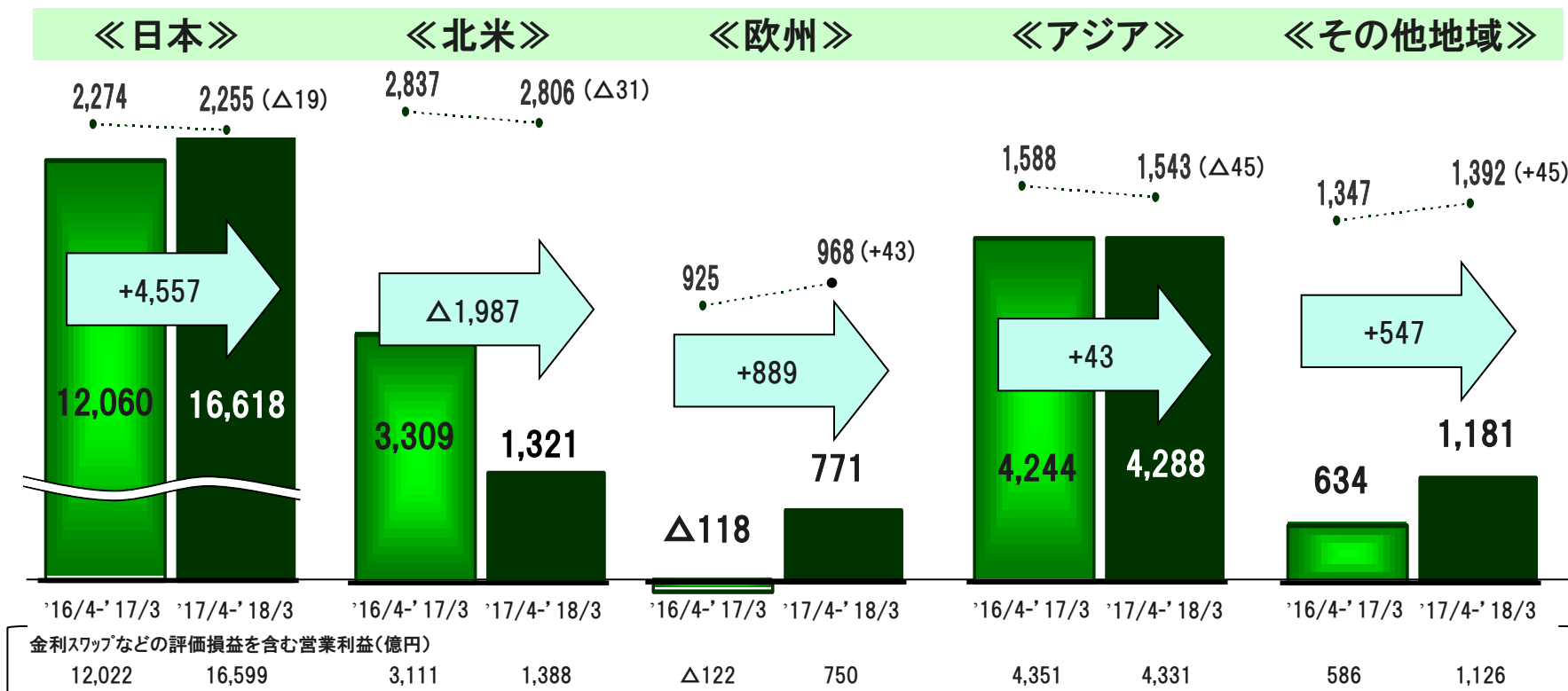


*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引	+2,150	海外子会社の	+250	労務費	Δ750	スワップ評価損益	+154
-米ドル	+1,000	営業利益換算差		減価償却費	Δ500	ほか	
-ユーロ	+650	その他	+250	研究開発費	Δ250		
-その他通貨	+500	(外貨建引当の期末換算差ほか)		経費ほか	+2,100		

※2017年3月期末より、「為替変動の影響」に、海外子会社の営業利益換算差や外貨建取引の期末換算差等を含めています。

所在地別営業利益

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> -●- 連結販売台数(千台)



日本	(前年比+4,557億円)	為替変動の影響、原価改善・営業面の努力により増益
北米	(前年比Δ1,987億円)	販売報奨金の増加等、販売面での影響により減益
欧州	(前年比+889億円)	原価改善の努力等により増益
アジア	(前年比+43億円)	原価改善・営業面の努力により増益
その他地域	(前年比+547億円)	営業面の努力、および為替変動の影響等により増益

金融セグメント営業利益

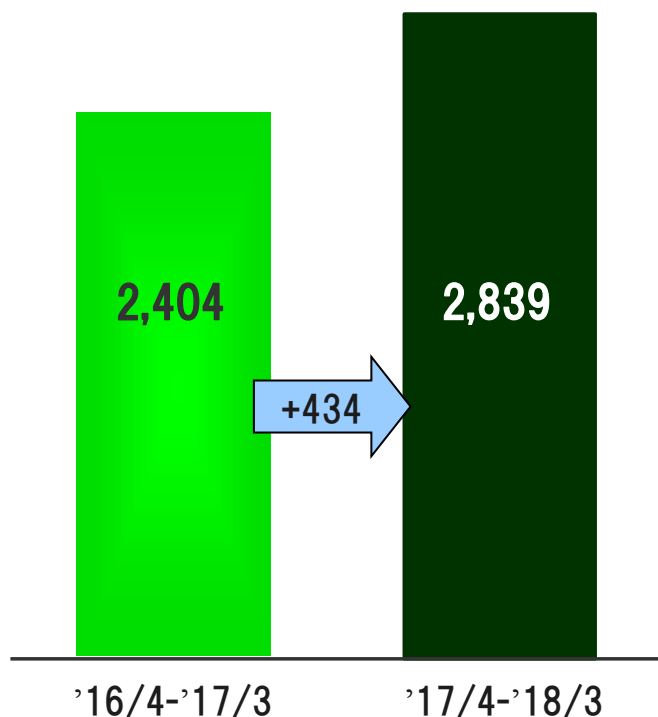
■ 営業利益(億円)*

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く

◇ 営業利益*

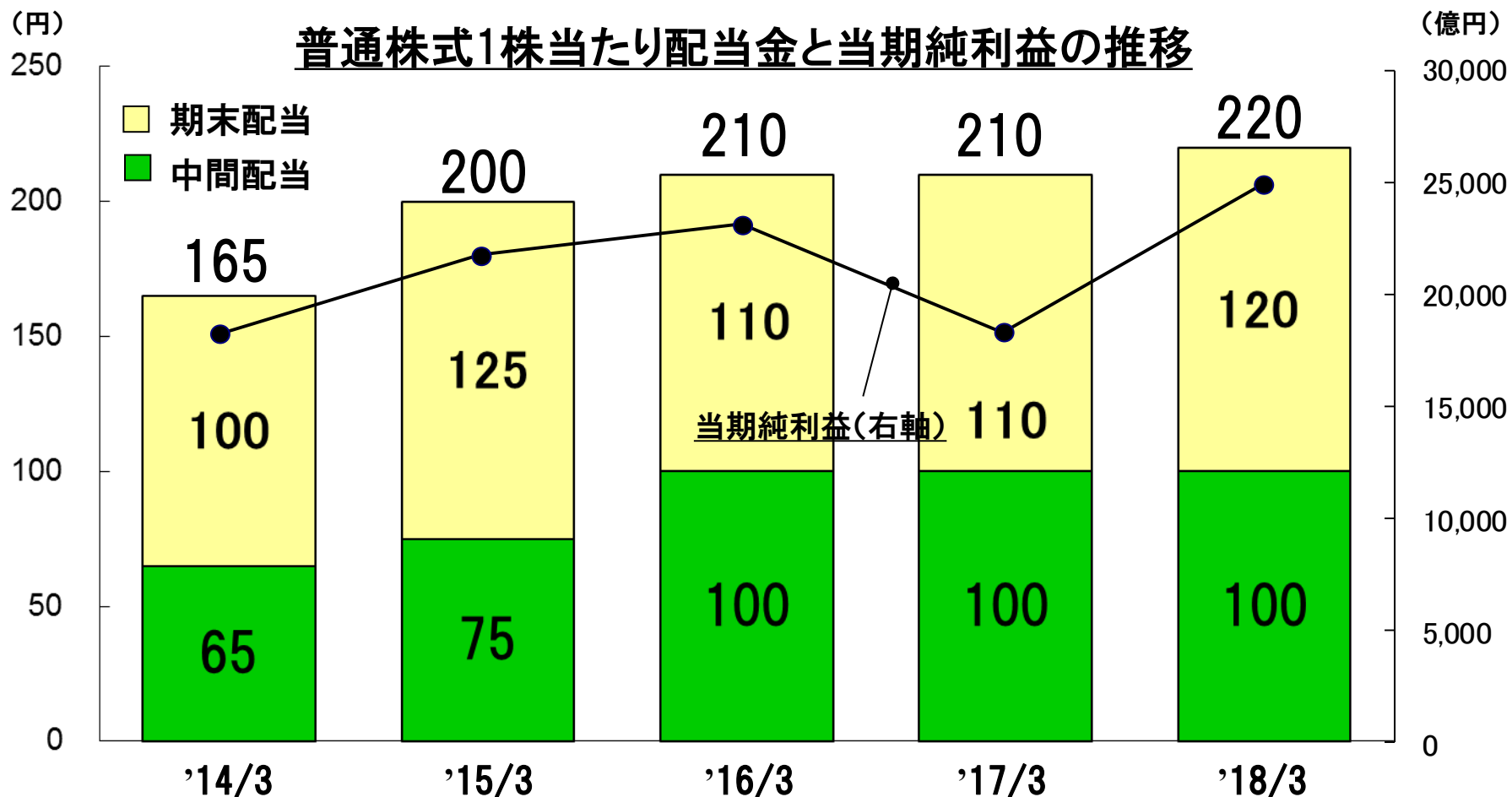
2,839億円(前期比 +434億円)

・販管費が増加したものの、
融資残高の増加や貸倒コストの
減少により、増益



	前期	当期	増減
営業利益	2,224	2,855	+631
金利スワップ取引 などの評価損益	△180	15	+196
金利スワップ取引などの 評価損益を除く営業利益	2,404	2,839	+434

株主還元：配当金



配当総額 (億円)	5,229	6,313	6,455	6,275	6,426
配当性向*	28.7%	29.0%	28.3%	34.6%	26.1%

* 配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当社普通株主に帰属する当期純利益

株主還元：まとめ

			'18/3期		'17/3期	
配当	普通 株式	中間	@100円/株	@220円/株 26.1%	@100円/株	@210円/株 34.6%
		期末	@120円/株	6,426億円	@110円/株	6,275億円
			6,501億円 ^(*1)		6,324億円 ^(*1)	
自己株取得		中間	2,499億円/ 33百万株	5,499億円/ 88百万株 (上限)	1,999億円/ 29百万株	4,499億円/ 69百万株
		期末	3,000億円/ 55百万株 (上限)		2,499億円/ 40百万株	
総還元額			12,001億円(上限)		10,824億円	
総還元性向 ^(*2)			48.1% (上限)		59.1%	

(*1) 第1回AA型種類株式への配当を含む

(*2) 総還元性向：(配当総額(普通株式および第1回AA型種類株式) + 自己株式取得) ÷ 当期純利益

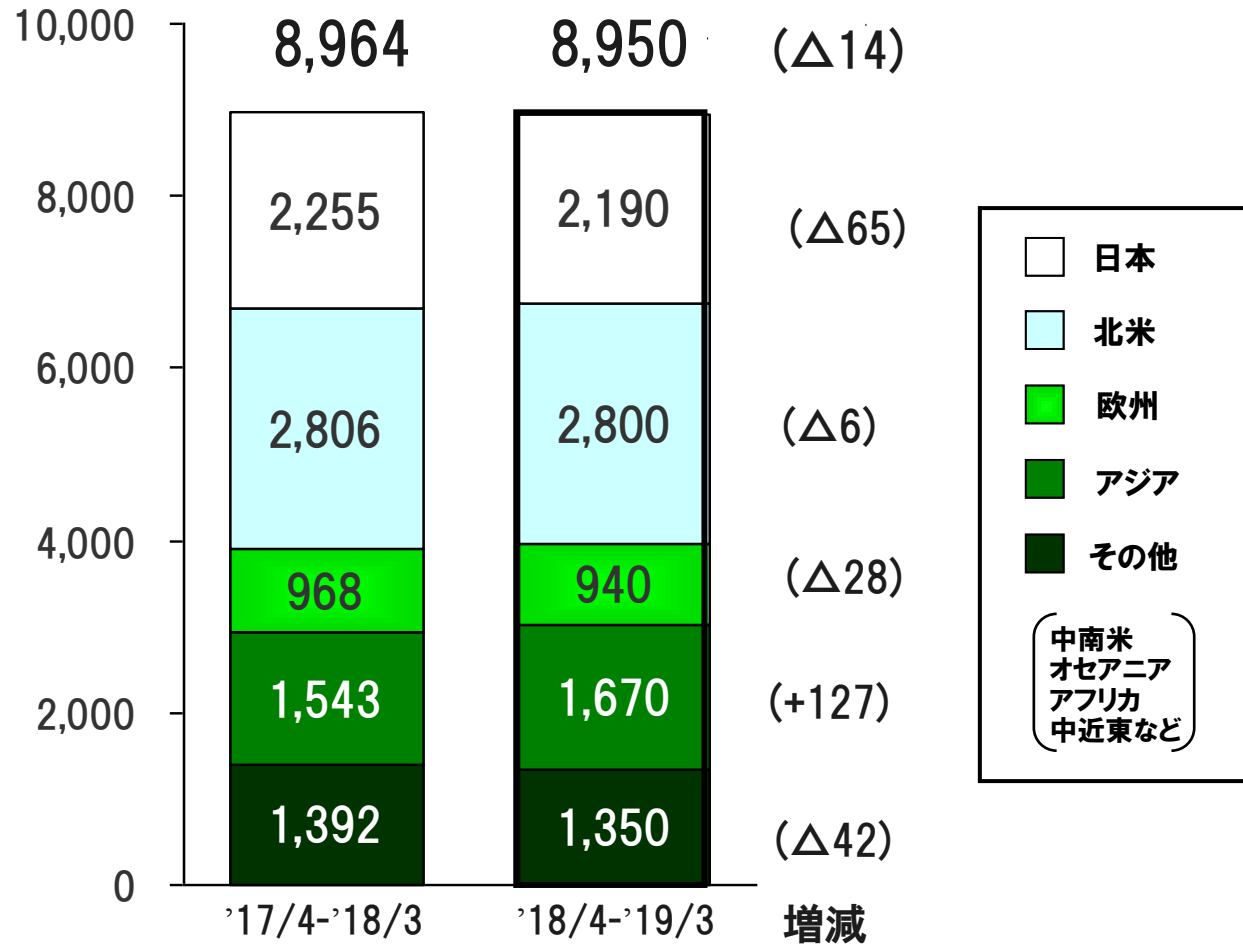
2018年3月期 決算説明会

2018年3月期 実績

2019年3月期 見通し

連結販売台数見通し

(単位:千台)



グループ総販売台数(小売)

10,441	10,500	+59
--------	--------	-----

連結決算見通し要約

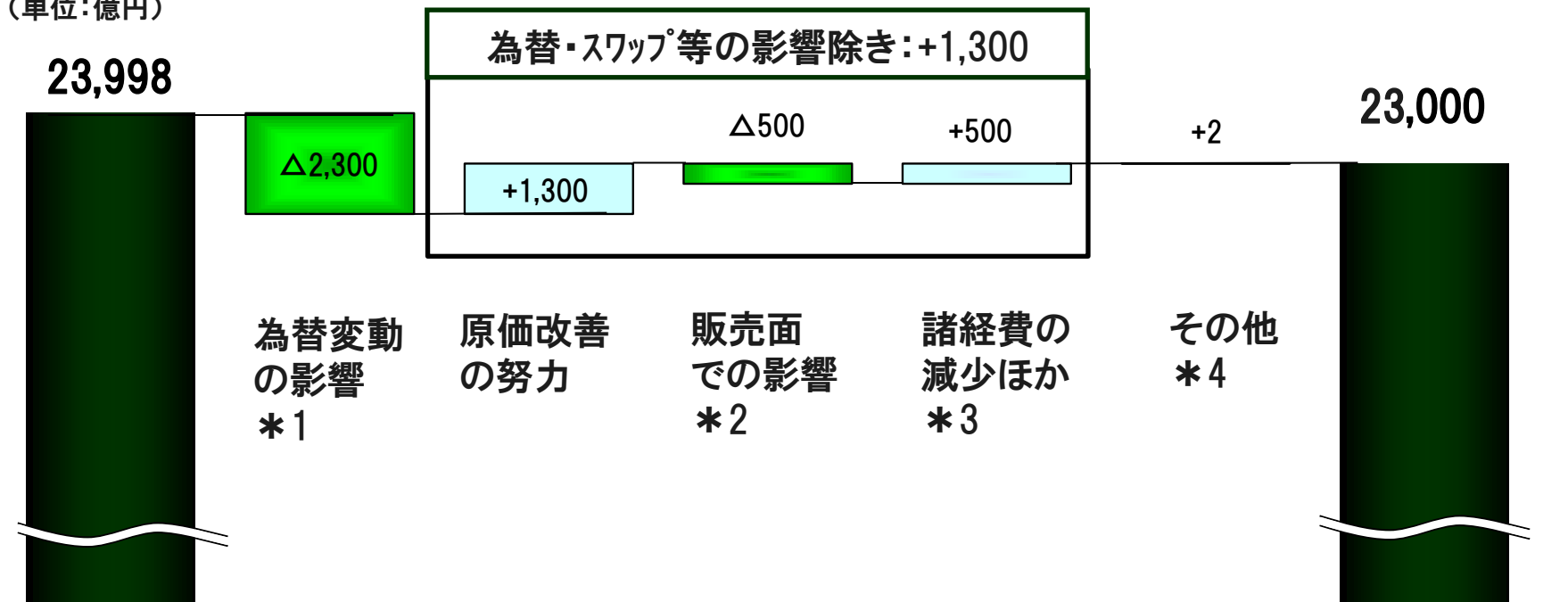
<為替レート>		当期	前期
ドル	: 6円円高	105円 ←	111円
ユーロ	: ±0	130円 ←	130円

(単位:億円)	2019/3月期 通期予想	2018/3月期 通期実績	増減
販売台数(千台)	8,950	8,964	△ 14
売上高	290,000	293,795	△ 3,795
営業利益	23,000	23,998	△ 998
(営業利益率)	(7.9%)	(8.2%)	
税引前利益	24,500	26,204	△ 1,704
持分法投資損益	4,400	4,700	△ 300
当期純利益 [*]	21,200	24,939	△ 3,739
(当期純利益率) [*]	(7.3%)	(8.5%)	

* 当社株主に帰属する当期純利益

連結営業利益見通し 増減要因

(単位:億円)



'18/3期実績

[111円/ドル
130円/ユーロ]

営業利益(△998)

'19/3期 今回見通し

[105円/ドル
130円/ユーロ]

*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	△2,750	海外子会社の	△250	台数・構成	+300	労務費	△300
-米ドル	△2,450	営業利益換算差		金融事業	±0	減価償却費	△500
-ユーロ	±0	その他	+700	その他	△800	研究開発費	△250
-その他通貨	△300	(外貨建引当の期末換算差ほか)		(販売諸費用ほか)		経費ほか	+1,550
						スワップ評価損益他	+2

※2017年3月期末より、「為替変動の影響」に、海外子会社の営業利益換算差や外貨建取引の期末換算差等を含めています。

2018年3月期 決算説明会



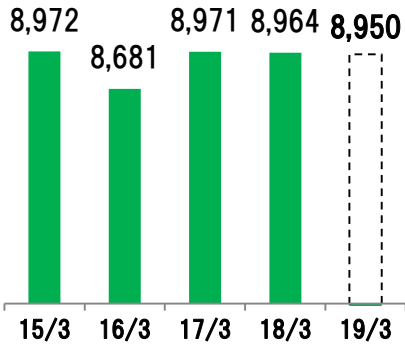
RAV4
(ニューヨークモーターショー出展車両)

トヨタ自動車株式会社
2018年5月9日

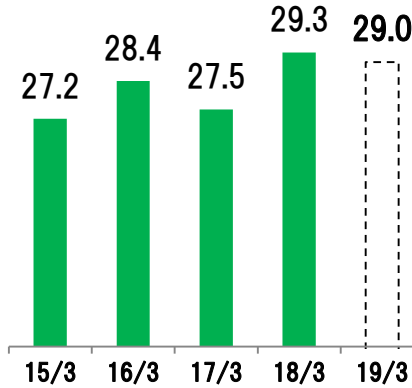
(ご参考) 業績推移

見通し

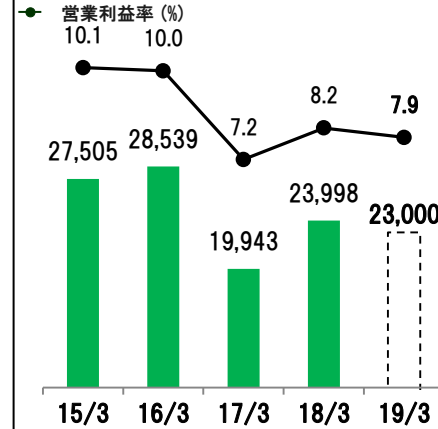
連結販売台数(千台)



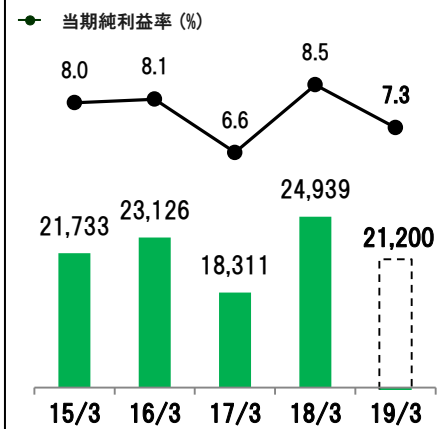
売上高 (兆円)



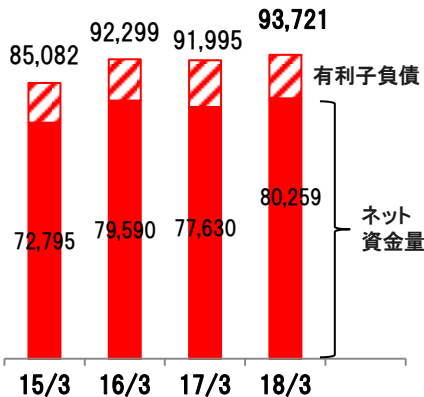
営業利益 (億円)



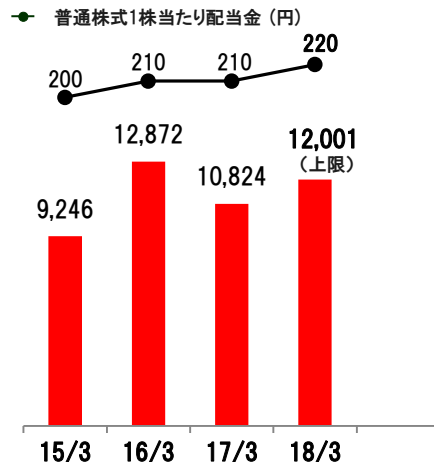
当期純利益 (億円)



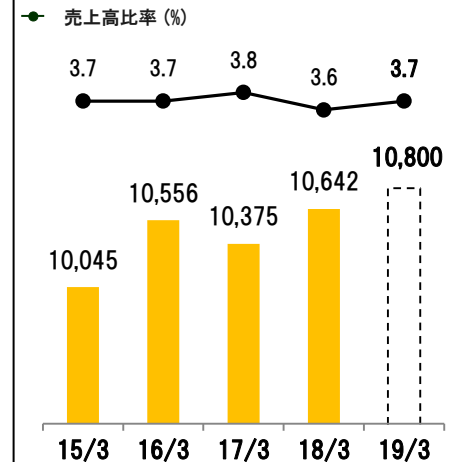
連結総資金量* (億円)



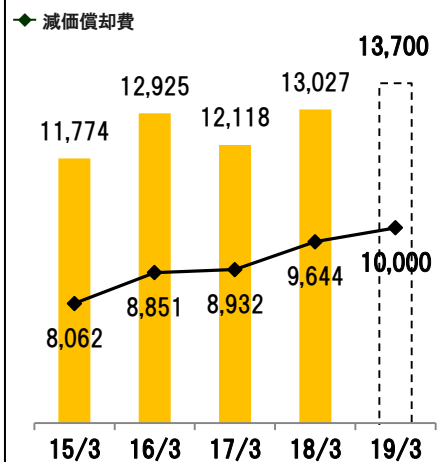
総還元額 (億円)



研究開発費 (億円)



設備投資 (億円)



* 総資金量：金融事業を除いた、現金及び現金同等物、定期預金、市場性ある負債証券および信託ファンドへの投資

(ご参考) 台数見通し

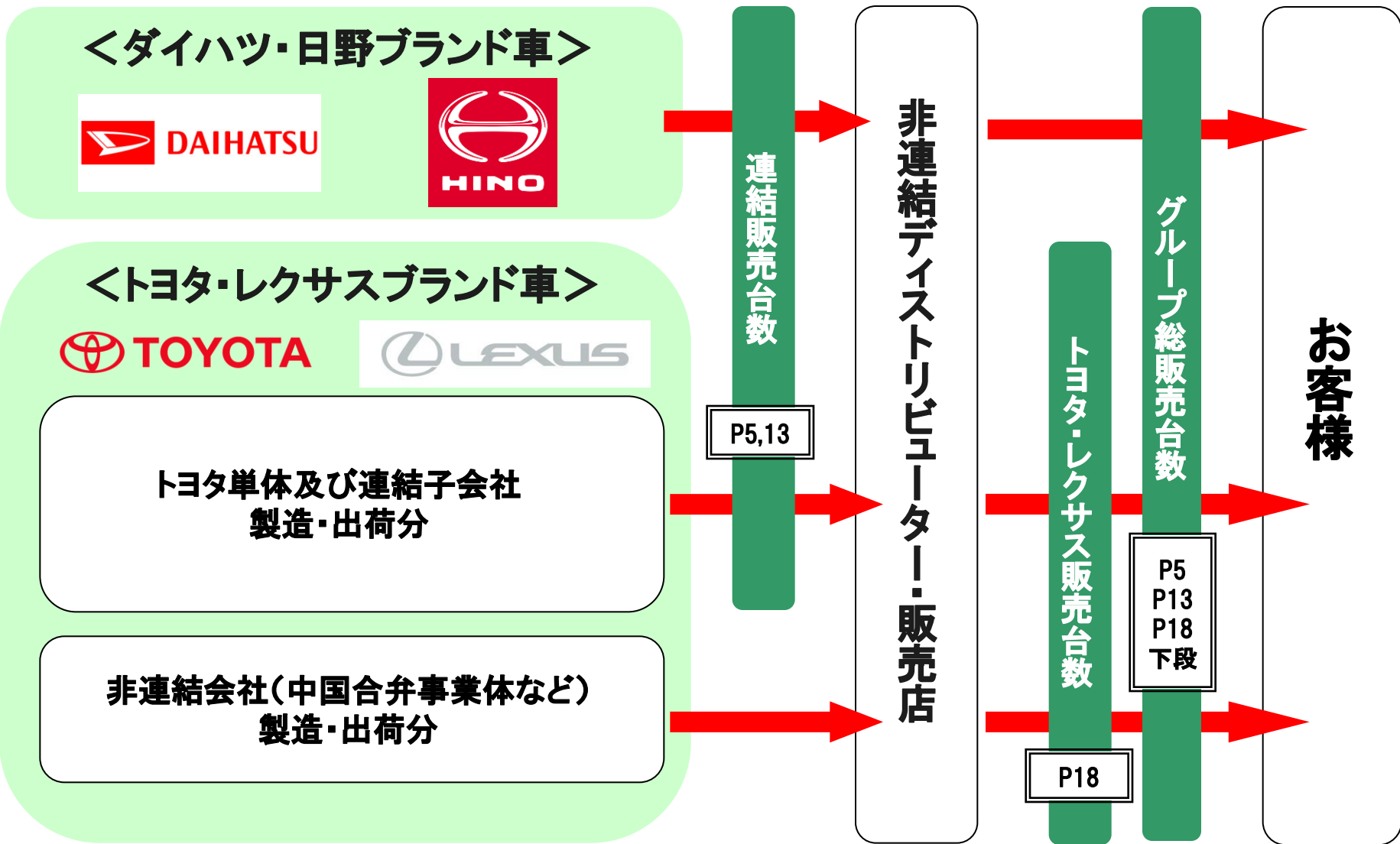
(単位:千台)

			見通し (’18/4-’19/3)	実績 (’17/4-’18/3)	増減
トヨタ・レクサス	生産 *1	国内	3,190	3,199	△9
		海外	5,710	5,724	△14
		合計	8,900	8,923	△23
	販売 (小売) *2	国内	1,530	1,597	△67
		海外	7,970	7,823	+147
		合計	9,500	9,420	+80
	輸出		1,900	1,882	+18
グループ総販売(小売)*2 … ダイハツ、日野ブランド含む		10,500	10,441	+59	

*1. 非連結会社による生産台数を含む

*2. 非連結会社による販売台数を含む

(ご参考) 販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り